

# 成人慢性期看護学演習

ナンバリング:N2-S1-E04

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 准教授		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座		
対象学年	2	区分・時間数	講義・演習/1単位
期間	後期		

## ・学修方針(講義概要等)

演習やグループワークを通して、成人期における健康障害をもった対象者の経過事例を用いて問題解決能力を養い、対象の状況にあった適切な看護技術や看護援助の実際を体験により学ぶ。また、学修した知識を看護実践に統合し活用する力を身に付ける。

## ・教育成果(アウトカム)

成人慢性期看護に必要な概念・理論を用いて、慢性疾患をもつ人と家族の特徴を理解し、患者家族が抱える問題を解決するための問題解決能力を養う。また、慢性疾患をもちながら生きる人と家族を生活者として捉える視点を持ち、セルフマネジメント及び生活の立て直しに必要な看護援助について説明できる。さらに、終末期患者ができる限り良好なQOLを実現するための看護援助について考察できる。

### 【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

1	医療人としての全人的人間性を持ち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
5	患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。
6	災害等の危機的状況においてもできるかぎり平常時と同様のケアを提供できるような構想力を身につける。
7	保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。
8	コミュニティにおいて、医療職福祉職以外の人や機能と連携し、健康上の課題の解決に向けたネットワークが形成できるように看護職者の地域活動の機能を理解する。

## ・到達目標(SBO)

1. 慢性の病とともに生きる人とその家族を包括的にアセスメントする方法を説明できる。
2. アセスメントを統合して対象の全体像を理解し看護問題を見出すことができる。
3. 演習を通して慢性期看護に必要な看護援助を理解し、指導のもと安全に実施できる。
4. 成人を対象としたセルフマネジメントを支援する看護援助を学び、強みをいかした教育的関わりを実施できる。
5. 慢性の病とともに生きる人の苦痛や苦悩を共感的に理解し、全人的苦痛を緩和するための看護援助について考察できる。
6. 病気や障がいと共に生きること、死に至る過程について自分の考えを述べることができる。

## ・授業日程

西1-B講義室、マルチ4A講義室、2階実習室、3階実習室、

### 【講義】

会場：災害時地域医療支援教育センター研修室

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
10/29 木 3限	<b>【授業内容】</b> 演習ガイダンス 糖尿病看護の実践(アセスメント) ・糖尿病患者のアセスメントから全体像を理解し、看護問題を見出すことができる <b>【関連するSBO】</b> 1、2 <b>【事前学修:60分】</b> 成人慢性期看護方法論の講義資料、教科書で復習する <b>【事後学修:60分】</b> 成人慢性期看護に必要な概念・理論について要点をまとめる	共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 准教授 小坂 未来 講師 三上 邦子 講師 畑中 るり子 助教

10/29 木 4限	<p>【授業内容】糖尿病患者への看護(フットケア)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病看護におけるフットケアの意義、特徴を説明することができる</li> <li>・足の観察から、対象の生活を聞くことができる</li> </ul> <p>【関連するSBO】1、2、3、4</p> <p>【事前学修:60分】成人慢性期看護方法論で学修した「代謝・内分泌系の障害を有する人と家族への看護」について復習し、WebClassにあるフットケアに関する資料で学修する</p> <p>【事後学修:60分】糖尿病看護におけるフットケアを実践するためのポイント、手順について要点をまとめる</p>	<p>共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 准教授 小坂 未来 講師 三上 邦子 講師 畑中 るり子 助教</p>
11/9 月 3限	<p>【授業内容】糖尿病患者への看護(インスリン自己注射、血糖自己測定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インスリン自己注射の適応、目的、方法を説明できる</li> <li>・インスリン自己注射、血糖自己測定の手順を説明できる</li> <li>・インスリン自己注射、血糖自己測定を根拠に基づいて実施できる</li> <li>・感染と安全に配慮してインスリン自己注射や血糖自己測定の指導ができる</li> </ul> <p>【関連するSBO】3、4</p> <p>【事前学修:60分】(事前課題提出①)事前に配付するインスリン自己注射および血糖自己測定に関する資料や教科書等で学修し、糖尿病患者へのインスリン自己注射、血糖自己測定の指導について要点をまとめる</p> <p>【事後学修:60分】インスリン自己注射および血糖自己測定について指導するための要点をまとめる</p>	<p>共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 准教授 小坂 未来 講師 三上 邦子 講師 畑中 るり子 助教</p>
11/9 月 4限	<p>【授業内容】糖尿病患者への看護(インスリン自己注射、血糖自己測定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インスリン自己注射の適応、目的、方法を説明できる</li> <li>・インスリン自己注射、血糖自己測定の手順を説明できる</li> <li>・インスリン自己注射、血糖自己測定を根拠に基づいて実施できる</li> <li>・感染と安全に配慮してインスリン自己注射や血糖自己測定の指導ができる</li> </ul> <p>【関連するSBO】3、4</p> <p>【事前学修:60分】(事前課題提出①)事前に配付するインスリン自己注射および血糖自己測定に関する資料や教科書等で学修し、糖尿病患者へのインスリン自己注射、血糖自己測定の指導について要点をまとめる</p> <p>【事後学修:60分】インスリン自己注射および血糖自己測定について指導するための要点をまとめる</p>	<p>共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 准教授 小坂 未来 講師 三上 邦子 講師 畑中 るり子 助教</p>
11/12 木 3限	<p>【授業内容】糖尿病患者への看護(アセスメント、食事療法と運動療法)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分自身の生活習慣を振り返り、自分にとっての生活習慣の意味について説明できる</li> <li>・血糖コントロール不良である糖尿病患者のアセスメントから全体像を理解し、看護問題を見出すことができる</li> <li>・生活者としての視点をもち、患者のセルフマネジメントおよび生活の再構築に必要な看護援助について説明できる</li> </ul> <p>【関連するSBO】1、2</p> <p>【事前学修:60分】(事前課題提出②)演習前の1日の食事や運動、日頃の生活習慣をまとめる</p> <p>【事後学修:60分】糖尿病患者のセルフマネジメントに必要な看護援助について要点をまとめる</p>	<p>共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 准教授 小坂 未来 講師 三上 邦子 講師 畑中 るり子 助教</p>
11/12 木 4限	<p>【授業内容】糖尿病患者への看護(アセスメント、食事療法と運動療法)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分自身の生活習慣を振り返り、自分にとっての生活習慣の意味について説明できる</li> <li>・血糖コントロール不良である糖尿病患者のアセスメントから全体像を理解し、看護問題を見出すことができる</li> <li>・生活者としての視点をもち、患者のセルフマネジメントおよび生活の再構築に必要な看護援助について説明できる</li> </ul> <p>【関連するSBO】1、2</p> <p>【事前学修:60分】(事前課題提出②)演習前の1日の食事や運動、日頃の生活習慣をまとめる</p> <p>【事後学修:60分】糖尿病患者のセルフマネジメントに必要な看護援助について要点をまとめる</p>	<p>共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 准教授 小坂 未来 講師 三上 邦子 講師 畑中 るり子 助教</p>
11/18 水 3限	<p>【授業内容】糖尿病看護の実践(グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病患者の生活の再構築に必要な看護援助について、具体的なケアプランを立案できる</li> </ul> <p>【関連するSBO】1、2</p> <p>【事前学修:60分】(事前課題提出③)授業内で提示する事例についてケアプランをまとめる</p> <p>【事後学修:60分】糖尿病患者の生活の再構築に必要な看護援助について要点をまとめる</p>	<p>共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 准教授 小坂 未来 講師 三上 邦子 講師 畑中 るり子 助教</p>

11/18 水 4限	<p>【授業内容】がん患者への看護(グループワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病状が進行しているがん患者について全人的視点でアセスメントすることができる</li> </ul> <p>【関連するSBO】1、2、4、5</p> <p>【事前学修:60分】緩和ケア論で学修している「がん患者の身体的苦痛」「がん患者の精神的苦痛、社会的苦痛、スピリチュアルペインのアセスメントとケア」について復習し、要点をまとめる</p> <p>【事後学修:60分】がん患者の全人的苦痛について要点をまとめる</p>	<p>共通基盤看護学講座</p> <p>伊藤 奈央 准教授 小坂 未来 講師 三上 邦子 講師 畑中 るり子 助教</p>
11/24 火 3限	<p>【授業内容】がん患者への看護(コミュニケーション・ロールプレイ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロールプレイを通してがん患者の苦痛や苦悩を共感的に理解するためのコミュニケーションを実践できる</li> </ul> <p>【関連するSBO】1、2、3、4、5</p> <p>【事前学修:60分】緩和ケア論で学修している「緩和ケアにおけるコミュニケーション」について復習し、要点をまとめる</p> <p>【事後学修:60分】がん患者の苦痛や苦悩を共感的に理解するためのコミュニケーションについて要点をまとめる</p>	<p>共通基盤看護学講座</p> <p>伊藤 奈央 准教授 小坂 未来 講師 三上 邦子 講師 畑中 るり子 助教</p>
11/24 火 4限	<p>【授業内容】がん患者への看護(コミュニケーション・ロールプレイ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロールプレイを通してがん患者の苦痛や苦悩を共感的に理解するためのコミュニケーションを実践できる</li> </ul> <p>【関連するSBO】1、2、3、4、5</p> <p>【事前学修:60分】緩和ケア論で学修している「緩和ケアにおけるコミュニケーション」について復習し、要点をまとめる</p> <p>【事後学修:60分】がん患者の苦痛や苦悩を共感的に理解するためのコミュニケーションについて要点をまとめる</p>	<p>共通基盤看護学講座</p> <p>伊藤 奈央 准教授 小坂 未来 講師 三上 邦子 講師 畑中 るり子 助教</p>
11/26 木 3限	<p>【授業内容】がん患者への看護(全人的苦痛に対する緩和ケア)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がん患者の痛みの閾値を上げるケア、苦痛緩和のためのケアについて理解し実践できる</li> </ul> <p>【関連するSBO】1、2、3、4、5</p> <p>【事前学修:60分】教科書や文献等でがん患者の痛みの閾値を上げるケアについて調べる</p> <p>【事後学修:60分】がん患者の痛みの閾値を上げるケアについて要点をまとめる</p>	<p>共通基盤看護学講座</p> <p>伊藤 奈央 准教授 小坂 未来 講師 三上 邦子 講師 畑中 るり子 助教</p>
11/26 木 4限	<p>【授業内容】がん患者への看護(全人的苦痛に対する緩和ケア)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がん患者の痛みの閾値を上げるケア、苦痛緩和のためのケアについて理解し実践できる</li> </ul> <p>【関連するSBO】1、2、3、4、5</p> <p>【事前学修:60分】教科書や文献等でがん患者の痛みの閾値を上げるケアについて調べる</p> <p>【事後学修:60分】がん患者の痛みの閾値を上げるケアについて要点をまとめる</p>	<p>共通基盤看護学講座</p> <p>伊藤 奈央 准教授 小坂 未来 講師 三上 邦子 講師 畑中 るり子 助教</p>
11/30 月 2限	<p>【授業内容】終末期における患者・家族への看護(喪失体験シミュレーション)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・喪失体験のシミュレーションを通して自らの死生観について考えることができる</li> </ul> <p>【関連するSBO】5、6</p> <p>【事前学修:30分】自分自身が大切にしているものを考える</p> <p>【事後学修:90分】(課題レポート提出)自分自身の死生観についてレポートにまとめる</p>	<p>共通基盤看護学講座</p> <p>伊藤 奈央 准教授 小坂 未来 講師 三上 邦子 講師 畑中 るり子 助教</p>
11/30 月 3限	<p>【授業内容】終末期における患者・家族への看護(エンゼルケア)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・終末期における患者・家族へのケアの意義、特徴について説明できる</li> <li>・その人らしさを保つエンゼルメイクを実施できる</li> </ul> <p>【関連するSBO】1、3、5、6</p> <p>【事前学修:60分】(事前課題提出④)緩和ケア論で学修した「臨死期にある患者・家族へのケア」について復習および動画を視聴し、エンゼルケアの要点についてまとめる</p> <p>【事後学修:60分】エンゼルケアの手順、終末期における患者・家族へのケアの要点についてまとめる</p>	<p>共通基盤看護学講座</p> <p>伊藤 奈央 准教授 小坂 未来 講師 三上 邦子 講師 畑中 るり子 助教</p>
11/30 月 4限	<p>【授業内容】終末期における患者・家族への看護(エンゼルケア)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・終末期における患者・家族へのケアの意義、特徴について説明できる</li> <li>・その人らしさを保つエンゼルメイクを実施できる</li> </ul> <p>【関連するSBO】1、3、5、6</p> <p>【事前学修:60分】(事前課題提出④)緩和ケア論で学修した「臨死期にある患者・家族へのケア」について復習および動画を視聴し、エンゼルケアの要点についてまとめる</p> <p>【事後学修:60分】エンゼルケアの手順、終末期における患者・家族へのケアの要点についてまとめる</p>	<p>共通基盤看護学講座</p> <p>伊藤 奈央 准教授 小坂 未来 講師 三上 邦子 講師 畑中 るり子 助教</p>

・教科書・参考書等

	書籍名	教:教科書	参:参考書	推:推薦図書
		著者名	発行所	発行年
教	看護学テキストNICE 成人看護学 慢性期看護 病気とともに生活する人を支える 改訂第4版	鈴木久美 他 編	南江堂	2023
教	成人看護学① 成人看護学概論/成人保健 第7版	黒江ゆり子 編	メディカルフレンド社	2021
参	ナーシング・グラフィカ 成人看護学(6) 緩和ケア 第3版	宮下光令 編	メディカ出版	2022

・成績評価方法

【総括的評価】定期試験(多肢選択)60%、演習への取り組み状況30%、レポート10%の合計100%で評価する。なお、演習の取り組み状況は、事前学修を通じた演習の準備性、演習での主体的・積極的 attitude などで評価する(演習ガイダンス時に説明する)。  
 【形成的評価】アンケートフォーム(Google Forms)を通して、学生の理解度および学修の成果を確認する。

DP	SBO	小テスト	定期試験	課題	GW	実技	その他	合計
1、3~8	1~5		60	30				90
2	6			10				10
合計		0	60	40	0	0	0	100

〈備考〉

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

授業に関する質問は授業中およびアンケートフォーム(Google Forms)で受付ける。全体に伝えるべき内容は、授業時間内もしくはWebClassでフィードバックする。

課題レポートの提出はWebClassを活用し、採点後にコメントを付し返却する。

【その他】

各回、学生同士でディスカッションする時間を設け、全体および個々の理解を深める。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師(別表3): 専門分野 成人看護学

【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】

当該科目に関連する実務経験の有無 有

大学病院等における看護師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノートPC	2	講義用
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影
演習	爪切り・爪やすり	25	フットケア演習
演習	人工皮膚パッド シリカゲル注射練習用	50	フットケア演習